

沖縄 21 世紀ビジョン基本計画等検証シートについて
(空手発祥の地・沖縄、戦略的な MICE 振興)

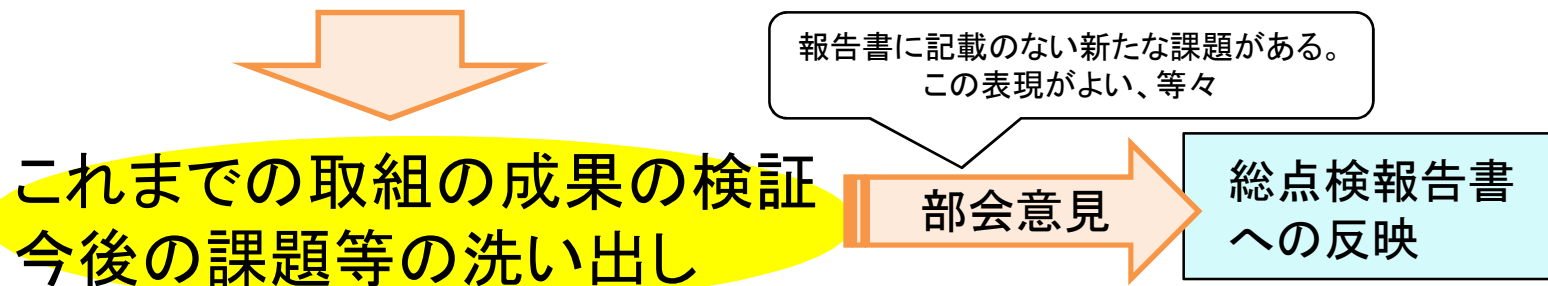
沖縄21世紀ビジョン基本計画等検証シートについて

検証シートとは

検証シートは、施策展開に位置づけられた成果指標の動向に、政策ツールである予算事業や沖縄振興特別措置法に基づく税制、特例措置、配慮規定等がどのような影響を与えたか、外部環境などの背景や要因を分析することを目的に作成するものであり、総点検報告書素案第3章の審議の参考となる資料である。

検証シートを活用した審議の具体的な視点

- ・目標は達成されているのか？
- ・**目標が達成できていない理由は何か？** 取組不足？外部要因？
- ・これまでの取組は目標の達成にどの程度寄与していたのか？



検証シートの見方について①

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

成果指標					背景・要因の分析		
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況			
P355	1. しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合	82%	58%(H25)	49.8%(H30)	進展遅れ	(1)しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合 【進展遅れ】 「しまくとぅば」普及推進計画に基づき、「しまくとぅば普及センター」の設置運営のほか、県民大会・しまくとぅば語やびら大会を開催するなど、しまくとぅば普及人材の養成及び活用、しまくとぅばに触れる環境の整備等の取組みを行ってきたが、特に若年層において、しまくとぅばを挨拶程度以上話す人の割合は伸び悩んでいることから、進展が遅れている。	
記載なし	2. 文化財の指定件数	1,450件	1,345件(H23)	1,413件(H30)	進展		
	3. 史跡等への訪問者数	390万人/年	327.7万人/年(H22)	401.9万人/年(H30)	目標達成		
	4. 市町村文化協会会員数	20,000名	12,854名(H23)	15,295名(H30)	進展遅れ		
政策ツール							
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	(2)文化財の指定件数 調整中(他部会) (3)史跡等への訪問者数 調整中(他部会)
P353	しまくとぅば普及センター(中核的機能)の設置・運営(H28~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 207百万円 (166百万円)	普及の中核的機能を果たすしまくとぅば普及センターを運営する	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ	
P353	しまくとぅば体験催しの創出(H25~H28)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 156百万円 (124百万円)	「しまくとぅば県民大会」や「しまくとぅば語やびら大会」を開催し、しまくとぅばの普及推進を図る	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ	
	しまくとぅば学習活動の支援(H24~R3)(教育庁)	—	高校において、授業や特別活動等の中で琉球語で書かれたテキストを教材とした学習活動を支援する	【H30年度目標】 学校設定科目実施校 10校	【H30年度実績】 学校設定科目実施校 7校	進展	
	しまくとぅば活用連携協力事業(H24~R3)(教育庁)	—	小・中学校の学校教育において、地域の人材を活用したしまくとぅばに関する授業や講話等を実施する	【H30年度目標】 しまくとぅば読本利用率 ・小学校85% ・中学校85%	【H30年度】 しまくとぅば読本利用率 ・小学校85% ・中学校85%		
記載なし	地域の文化継承・発信支援事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業 57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成	

21世紀ビジョン基本計画において各施策展開ごとに設定した成果指標を記載

成果指標に関連する主な予算事業を記載

※全ての関連事業を記載しているわけではなく、予算の大きいものや成果指標達成への寄与度の高いものを中心に記載

各成果指標について、達成状況とその背景や要因を記載



記載内容を元に達成状況の検証や今後の課題等の洗い出しを実施

第2回文化観光スポーツ部会で審議いただく成果指標や事業・取組等は、赤線で囲って表示しております。

検証シートの見方について②

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島			
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造			
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり			
政策ツール				背景・要因の分析
税制等				
経費措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況
努力義務・配慮義務・特例措置				
沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)		

施策展開に関連する沖縄振興特別措置法に基づく税制や努力義務、特例制度等を記載

成果指標及び予算事業に係る達成状況の評価基準について

成果指標に係る達成状況の評価基準

平成24年度から30年度までの成果指標の達成度(%)により評価

(算定式) 達成率 = (H○実績値 - 基準値) / (H33目標値 - 基準値)

(区分) 「目標達成」: 100%超 「達成見込」: 70%~100%未満

「進展」: 50%~70%未満 「進展遅れ」: 50%未満

予算事業に係る達成状況の評価基準

成果指標と同様に活動指標の進捗率(%)により評価

(算定式) 進捗率 = (評価年度実績値 - 基準値) / (評価年度目標値 - 基準値)

(区分) 「達成」: 90%超 「概ね達成」: 75%~90%未満

「進展」: 60%~75%未満 「進展遅れ」: 60%未満

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

記載なし
記載なし
P360

成果指標	目 標 値 (R3年度)	基 準 値	実 績 値	達 成 状 況
1. 県が支援した文化交流イベントの来場者数	40,000人	14,960人(H23)	34,419人(H30)	達成見込
2. 世界エイサー大会の来場者数	6,000人	64,900人(H23)	1,500人(H30)	進展遅れ
3. 文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)	700人	10人(H23)	535人(H30)	達成見込
4. 県外・海外からの空手関係者来訪数	9,400人	80人(H24)	7,169人(H30)	達成見込

(1)県が支援した文化交流イベントの来場者数
【達成見込】
 沖縄芸能などを通じて文化関連団体が行う県外・海外との交流を図るための取組に対する支援や、音楽イベントやエイサーを通じた県外、海外との文化交流イベントへの後援など側面的な支援を行った結果、目標値を達成する見込みである。

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

P360
記載なし

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目 標 値	実 績 値	達 成 状 況
文化観光戦略推進事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成
世界エイサー大会開催支援事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業	97百万円	県内外、海外のエイサー団体を集めた世界大会を民間主導で開催する	【H30年度目標】 世界エイサー大会の来場者数 1,800人	【H30年度実績】 世界エイサー大会の来場者数 1,500人	概ね達成
芸術文化国際交流(書道)(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	23百万円 (18百万円)	書道分野で活躍する高校生を台湾へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 95%	達成
芸術文化国際交流(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	145百万円 (116百万円)	音楽、美術・工芸、郷土芸能の芸術分野で活躍する高校生をドイツ、台湾、アメリカ(ハワイ)へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 98%	達成

(2)世界エイサー大会の来場者数
【進展遅れ】
 平成25年度から民間主導型へ移行し、県は、大会開催にあたり、事業の共催や実行委員として運営に関わるなどの側面的支援を行うとともに、コンテスト形式(競技)から交流会形式に変更したことなどから来場者数が減となり、進展が遅れているものの、エイサー等を通じた体験型文化交流に繋がっている。

(3)文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)

調整中
(他部会)

沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

政策ツール							背景・要因の分析																
P360	主な予算事業						(4)県外・海外からの空手関係者来訪数 【達成見込】 沖縄空手を振興するため、沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップの策定、空手関係イベント及び国際大会の開催、沖縄空手会館を拠点とした利活用事業等を展開することで、県外・海外からの空手関係者の来訪に繋がっている。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (事業年度)</th> <th>事業の種類</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄空手の振興 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>578百万 (462百万円)</td> <td>国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進、指導者・後継者の育成を図る</td> <td>【H30年度目標】 県外・海外からの空手関係者来訪数 6,900人</td> <td>【H30年度実績】 県外・海外からの空手関係者来訪数 7,169人</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>伝統行事・イベントへの支援(H24～R3) (複数市町村)</td> <td>市町村事業 ソフト交付金</td> <td>521百万円 (293百万円)</td> <td>各市町村において、伝統文化の継承と観光客誘客を図るため、各種伝統行事やイベントへ支援を行う</td> <td>行事・イベントへの来場者数等</td> <td>【平成24～平成29年度】 達成市町村割合 87%</td> <td>概ね達成</td> </tr> </tbody> </table>	事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値		実績値	達成状況	沖縄空手の振興 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	578百万 (462百万円)	国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進、指導者・後継者の育成を図る	【H30年度目標】 県外・海外からの空手関係者来訪数 6,900人	【H30年度実績】 県外・海外からの空手関係者来訪数 7,169人	達成	伝統行事・イベントへの支援(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	521百万円 (293百万円)	各市町村において、伝統文化の継承と観光客誘客を図るため、各種伝統行事やイベントへ支援を行う	行事・イベントへの来場者数等	【平成24～平成29年度】 達成市町村割合 87%	概ね達成
	事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況															
沖縄空手の振興 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	578百万 (462百万円)	国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進、指導者・後継者の育成を図る	【H30年度目標】 県外・海外からの空手関係者来訪数 6,900人	【H30年度実績】 県外・海外からの空手関係者来訪数 7,169人	達成																	
伝統行事・イベントへの支援(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	521百万円 (293百万円)	各市町村において、伝統文化の継承と観光客誘客を図るため、各種伝統行事やイベントへ支援を行う	行事・イベントへの来場者数等	【平成24～平成29年度】 達成市町村割合 87%	概ね達成																	
税制等																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>軽減措置の名称(対象年度)</th> <th>適用数量・金額 (24～29年度)</th> <th>目標値(33年度)</th> <th>実績値(29年度)</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>							軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況												
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況																			
努力義務・配慮義務・特例措置																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>沖縄振興法条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>							沖縄振興法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)														
沖縄振興法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																					

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ウ 大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1) MICE開催による直接経済効果 【進展遅れ】 インセンティブ旅行、展示会等の開催件数、参加者数ともに増加しており、直接経済効果は単年度では計画値を大きく上回った。当初予定されていた大型MICE施設の設置が大幅に遅れていることから、R3年度の計画値に対し遅れが生じているものの、MICEによる経済効果を最大化するため、沖縄MICEネットワークを活用し、県内MICE関連産業の創出を推進する等、目標達成に向けて取り組む。</p> <p>(2) 1,000人以上のMICE開催件数 【進展遅れ】 展示会・イベントやインセンティブ旅行は前年より増加したが、大人数の受入が出来る施設に限られ、県内最大のMICE施設である沖縄コンベンションセンターも稼働率が高いことから、大型催事は頭打ちの状況となっている。</p> <p>(3) 県外・海外からの参加者が300名以上のインセンティブ旅行件数 【達成】 国内外でのプロモーション活動を実施した結果、国内の大型インセンティブ旅行の増加に繋がり、目標としていた件数を上回った。今後も各種プロモーションや中規模以上の催事への開催支援を継続して行う。</p>
P451	1. MICE開催による直接経済効果	413億円	209億円(H28)	243億円(H30)	進展遅れ	
P451	2. 1,000人以上のMICE開催件数	134件	85件(H28)	85件(H30)	進展遅れ	
P451	3. 県外・海外からの参加者が300名以上のインセンティブ旅行件数	40件	17件(H28)	44件(H30)	達成	
P451	4. 国際会議の件数(ICCA基準を満たしているもの)	20件	13件(H28)	12件(H30)	進展遅れ	
P451	5. 国内会議の件数(JCCB基準を満たしているもの)	50件	39件(H28)	32件(H30)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P450	国内外におけるMICE情報の収集(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	63百万円 (51百万円)	最新のMICE市場の動向を収集や、主催者ニーズを把握し、効果的なMICE誘致・プロモーションにつなげていく。	【H30年度】 MICE関係団体、MICE専門商談会における情報収集	【H30年度実績】 国内2都市、海外15都市で商談会・セミナー等を主催又は出展し、プロモーション及び主催者ニーズを把握	達成
P450	MICEブランドの構築・発信(H28～R3) (文化観光スポーツ部)	103百万円 (82百万円)	沖縄MICEブランドを関係事業者と協働して開発し、プロモーション活動等においてMICEブランドを効果的に発信し認知度向上を図る。	【H30年度】 継続的なブランドプロモーションの展開	【H30年度実績】 プロモーション動画を作成しメディアを通じた周知活動の実施	達成
P450	企業ミーティング・インセンティブ旅行の誘致(H24～R3)	16百万円 (13百万円)	企業等を対象としたMICEセミナー開催や県内事業者とのマッチングイベント等を開催した。	【H30年度】 主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソンの招聘	【H30年度実績】 商談40件の実施及び国内2都市64社、海外12都市89社に対してMICEセミナーの実施	達成
P450	コンベンションの誘致(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	63百万円 (51百万円)	県内大学等と連携し、国内学会や国際会議の誘致・開催支援を実施した。	【H30年度】 主催者等への誘致活動、商談会等への参加、大学による誘致活動支援	【H30年度実績】 県内外大学の学会主催者への訪問活動や学会主催者等のFAMツアー(県内視察)を実施したほか、コンベンションを専門に取り扱う商談会3件へ出展し、延べ59件の商談を実施	達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ウ 大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興

政策ツール							背景・要因の分析	
主な予算事業							<p>(4)国際会議の件数(ICCA基準、JCCB基準を満たしているもの) 【進展遅れ】 国際会議等の開催地は開催の数年前に決定することから、数年前の誘致活動の結果が反映されており、国際会議については横ばい、国内会議については9件減となり計画値を下回ったものの、国内学会については地方での開催意欲が年々高まりつつあることから、目標達成に向けて前進している。</p>	
	事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
P450	展示会、商談会、見本市の誘致・開催(H30～R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	150万円 (120万円)	国内外の展示会主催者等への誘致活動と、県内での展示会等開催に向けた産業界の取組を促進する。	【H30年度】 主催者への誘致活動や展示会等の開催支援	【H30年度実績】 主催者への誘致活動や展示会等の開催支援		達成
P451	大型MICE施設の整備(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 (県単、ソフト交付金)	7,164百万円 (174百万円)	施設規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。	【H30年度】 設計・工事・開業準備に向けた取組	【H30年度実績】 事業推進に向けた関係機関との協議や整備財源の確保策を含む新たな事業計画の策定に向けた調整を行った。		進展遅れ
P451	大型MICE施設周辺の受入環境の整備(H28～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 (県単、ソフト交付金)	75百万円 (6百万円)	大型MICE受入環境整備に向けた都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等を行なった。	【H30年度】 マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整	【H30年度実績】 マリンタウンMICEエリアまちづくりデザインを策定		達成
記載なし	県有MICE施設の管理・運営(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単	2,454百万円 (0百万円)	沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館における管理運営や利用環境の維持強化を図る。	【H30年度】 適切な施設の管理・運営・機能強化	【H30年度】 適切な施設の管理・運営・機能強化		達成
P450	MICE開催支援の充実(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	209百万円 (167百万円)	MICE歓迎イベントやシャトルバス借上支援、芸能団派遣など参加者の満足度を高める取組を実施	【H30年度】 MICE歓迎イベント、シャトルバス借り上げ支援、開催経費の負担軽減等の実施	【H30年度実績】 主催者に対して、開催経費の一部助成を行ったほか、芸能団派遣などにより、MICE参加者の満足度を高める各種サポートを実施		達成
P451	企業、地域、住民によるMICE参加の促進	県事業 ソフト交付金	26百万円 (21百万円)	沖縄MICEネットワークが中心となり企業向けMICE勉強会の開催や県民向けイベントを実施した。	【H30年度】 MICE普及イベントの開催やMICE主催者による県民向けイベントの開催促進	【H30年度実績】 県民向けシンポジウムや企業への出前講座等を開催するとともに、主催者へ県民イベントの開催の働きかけの実施		達成

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ウ 大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興

政策ツール					背景・要因の分析
税制等					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
観光地形成促進地域制度	国税 1件(2百万円) 地方税 24件(63百万円)	入域観光客数(国内外) 1,200万人 観光収入(国内外) 1.1兆円	入域観光客数(国内外) 957.9万人 観光収入(国内外) 6,979億円	進展	
努力義務・配慮義務・特例措置					
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		
§ 15	海外における宣伝等の措置(努力義務)	国等 地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)ではデジタルジャパン事業や海外メディアを通じた情報発信、海外現地メディアを通じた情報発信、外国語ツールによる情報発信等を沖縄県と連携して実施した。 ・沖縄県では、沖縄観光国際化ビッグバン事業等においてアジアをはじめ欧米等での沖縄観光プロモーションをJNTOをはじめ国内外の関係機関と連携し積極的に展開した。 		

P458
～459